

平成 27 年度 事業報告書

自 2015 年 4 月 1 日 至 2016 年 3 月 31 日



札幌市青少年山の家 / トライキャンプ (7/25~7/30 実施)

公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会



目 次

I. 平成 27 年度 総括	1
II. 経営理念	2
III. 事業報告	
1. 事業実施状況	
2. 施設管理運営	
3. 事業実施報告概要（事業区分別）	3
4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況	5
5. 各課（各施設）事業実施報告	
(1) こども育成課（指定管理事業：児童会館 104 館） （受託事業：ミニ児童会館 94 館、放課後子ども館：5 館）	14
(2) こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	17
(3) 企画事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	21
(4) 企画事業課（地域活動等事業：野外活動系事業） （自主運営施設：滝野自然学園）	24
(5) 野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）	25
(6) 野外活動課（指定管理事業：定山溪自然の村）	26
(7) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	28
(8) 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	30
(9) 企画事業課（地域活動等事業：自主事業・受託事業）	34
6. 重要な契約に関する事項	36
7. こども基金（スマイルキッズ）協力者・助成対象一覧	
IV. 事務報告	37
1. 設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 事務所の状況	
5. 役員等に関する事項	
(1) 理事 (2) 監事 (3) 評議員	
6. 職員に関する事項（事務局組織図）	39
(1) 主要な職員 (2) 職員数	
7. 会計に関する事項	40

I. 平成 27 年度 総括

平成 18 年度は、札幌市の公の施設において指定管理者制度が導入され、これまで管理委託制度のもと各事業を受託していた当財団は、同様の事業を継続するため、競合する事業者と提案書で競うことが求められるなど、大きな変化があった年度として記憶に新しい。

そこから 10 年を経た、平成 27 年度の事業計画では、社会的環境の変化に適応し、財団が継続して事業活動を行っていくため、必要性に応じて様々な角度から制度・方法等を革新して事業を進めることを基本方針に掲げ事業を開始した。

約 1,200 名の職員体制で事業年度をスタートさせた平成 26 年度と比較して、平成 27 年度期末の段階では、約 1,550 名の職員が在籍する状況を迎えており、正に社会的環境の変化によって起こった事業規模の拡大に組織的に対応する必要性に迫られている。

一般論として、事業活動を行う事業者の中では、事業の急速な拡大には、十分な内部管理体制の構築が追いつかず、適切な事業運営が困難になるケースなど、様々なリスクが付帯しているといわれている。

公益法人である当財団においては、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業活動の推進と併せて、事業活動の安定かつ継続的な遂行や団体としての社会的責任を満たすための適切な内部管理体制の維持が大変に重要であり、これらに対応する人材の確保と人材育成においては、より計画的に推進する必要があると考えている。

多様な事業を展開し、多数の職員が在籍する現在の状況は、当財団が設立から 36 年間をかけて築いた財産そのものであり、団体に課せられている使命の達成に向けた貴重な経験となっている。

これらの財産と経験を最大限生かしながら、待ち受ける様々な課題を克服し、公益財団法人として、これからも社会の期待に応え続けていく。



Ⅱ. 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる地域社会の創造」

Ⅲ. 事業報告

1. 事業実施状況

平成 27 年度 事業基本方針	
1	既存事業を強化するための戦略的投資
2	自主公益事業の拡充と滝野自然学園の積極活用
3	組織体制の整備によるガバナンスの強化
4	人材の確保と人材育成
5	経営基盤の強化

2. 施設管理運営

(1) 自主事業 2 施設

- ・ 滝野自然学園
- ・ 岩見沢地域若者サポートステーション

(2) 指定管理 115 施設

- ・ 若者支援施設 5 施設
- ・ 児童会館 104 施設
- ・ 青少年山の家 1 施設
- ・ 定山溪自然の村 1 施設
- ・ 北方自然教育園 1 施設
- ・ 札幌エルプラザ公共 4 施設 1 施設
- ・ こども劇場 2 施設

(3) 受託 99 施設

- ・ ミニ児童会館 (94 施設)
- ・ 放課後子ども館 (5 施設)



3. 事業実施報告概要（事業区分別）

【定款第4条】 (1)青少年の健全育成と社会参加に関する事業 (2)社会教育の推進に関する事業

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

こども育成事業

(1)児童会館及びミニ児童会館事業

- ・青少年活動支援事業 ・体験機会創出事業 ・人材育成事業
- ・施設管理運営事業 等 (詳細P.14)

(2)こども劇場やまびこ座・こぐま座事業

- ・人材育成事業（一般対象、こども対象） ・体験機会創出事業
- ・地域連携事業 ・施設管理運営事業 等 (詳細P.17)

(3)地域活動等事業

- ・学習支援事業 (詳細P.35)

若者自立支援事業

(1)若者支援施設事業

- ・自立支援事業 ・受託事業 ・体験機会創出事業 ・人材育成事業
- ・地域連携事業 ・調査研究事業 ・施設管理運営事業 (詳細P.21)

(2)地域活動等事業

- ・自立支援事業 ・受託事業 (詳細P.35)

自然体験活動事業

(1)滝野自然学園

- ・体験機会創出事業 ・職員派遣事業 ・人材育成事業 ・情報発信事業
- ・団体支援事業 ・施設管理運営事業 (詳細P.24)

(2)北方自然教育園事業

- ・体験機会創出事業 ・地域連携事業 ・学習支援事業 等 (詳細P.25)

(3)定山溪自然の村事業

- ・体験機会創出事業 ・地域連携事業 ・学習支援事業 ・人材育成事業
- ・施設管理運営事業 (詳細P.26)

(4)青少年山の家事業

- ・体験機会創出事業 ・人材育成事業 ・団体支援事業 (詳細P.28)



【定款第4条】 (3) 市民活動の振興に関する事業

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

市民活動振興事業

札幌エルプラザ公共4施設事業

- ・活動支援事業
 - ・人材育成事業
 - ・職員派遣事業
 - ・地域連携事業
 - ・情報発信事業
- (詳細P.30)

【定款第4条】 (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

収1 イベント・物品貸与等事業

- ・民間企業等から受託したイベント
企画運営等事業
- ・物品貸与等事業



他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、
公益目的外での施設貸与事業

- ・札幌エルプラザ公共4施設、
定山溪自然の村、青少年山の家
の管理運營業務
- ・こども劇場、若者支援施設における
公益目的外での施設貸与事業



4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況

こども育成課・児童会館管理課

児童会館・ミニ児童会館



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】</p> <p>①人と人とのつながりを大切に、遊びをとおした豊かな体験活動を進めます。</p> <p>②個々の子どもとのかかわりを大切に、自己肯定感を高めます。</p> <p>③地域の中で安心して子育てができる環境づくりを進めます。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①地球温暖化の防止や循環型社会の形成から地球環境問題を視野に入れ、経費削減や効果的な運営維持を進めます。</p> <p>②平等利用を基本とし、地域から愛される児童会館を運営します。</p>	<p>①グループワーク クラブ活動を生かして、世代間交流または地域交流事業を年間1回以上実施する</p> <p>②ケースワーク 中高生企画事業を年間1回以上実施する</p> <p>③コミュニティワーク 年間1回以上「地域公開日」を実施する</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】</p> <p>①各館では子ども運営委員会の活動やクラブ活動をとおして様々な体験活動を実施している。その集大成として全館統一事業「げんキッズ2016」を実施した。多くの方々に日頃の活動の成果を発表することができた。また、地域交流として地域の方に畑作りについて教えていただき、一緒に育ててきた野菜の収穫をするなど、世代間交流や地域との交流を実施した。</p> <p>②各館にて、ケース記録を取りシェアを行った。それぞれの職員によるアプローチの違いにより関わり方に厚みが増し、子どもたちへの対応を多角的に実施できるようになった。また、子どもたち自身が企画した事業を実践することで、会館への愛着や意欲が増進した。</p> <p>③全館で実施した地域公開日は、日ごろ子どもと接点のない地域の大人にも足を運んでいただく機会となり、児童会館、ミニ児童会館の理解者を増やす取り組みができた。また、児童会館事業概要パネルを作成して活用し、理解を深めていただく工夫をした。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①地球環境と食をテーマに南極料理人の西村淳氏を迎えて職員研修を行った。全館から1人ずつ参加し環境配慮への知識を深めるとともに学びを共有した。4年目となる「緑のカーテン」事業を実施。これまで最多となる32館での実施となった。</p> <p>②平成28年度から「障害者差別解消法」がスタートすることになった。児童会館・ミニ児童会館では従前より障がい児童の受け入れを行っていたことから、受け入れ態勢に大きな変更はないものの、よりきめ細かいサービスを目指すことを全館で確認した。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①クラブ活動をとおして地域のお祭りでの発表や高齢者施設訪問事業などで交流を深めた。 世代間交流事業 242件 地域交流事業 403件実施 参加総数 69,884人 実施館＝198館／198館中 達成率 100%</p> <p>②スポーツ大会等や季節に合わせた行事を実施した。中高校生が小学生へスポーツを指導、ダンスでコラボするなど異年齢交流の機会となった。 実施館＝198館／198館中 達成率 100%</p> <p>③「地域公開日」に設定し、広く市民が参加できるよう地域向け広報誌を発行、招待状の作成など工夫があった。児童会館事業概要パネルを作成して事業活用し理解を深める工夫をした。 実施館＝198館／198館中 達成率 100%</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業



重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】 ①地域社会における文化的役割と意義</p> <p>【施設運営等事業】 ①人材育成と創造型の劇場運営 ②利用者の目線での施設運営 ③児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 ④最小経費で最大効果を</p>	<p>①年間上演日数 120 日</p> <p>②年間公演数 200 回以上</p> <p>③新規人形劇団の誕生、育成 3 団体以上</p> <p>④年間利用者数 やまびこ座 55,000 人 こぐま座 15,000 人</p> <p>⑤利用者満足度 85%</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】 長年にわたり人材育成事業に取り組んできた劇場運営の実績が評価され、やまびこ座が「平成 27 年度地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞し、こどもの劇場が優れた児童文化施設の拠点として札幌はもとより、全国に向けて発信することができたのは、大きな成果であった。</p> <p>【施設運営等事業】 ①公演事業については、目標の年間各 200 ステージを達成し、夏・春の特別公演を始め、文化庁補助事業「劇場・音楽堂等活性化事業」として上演した北海道小樽市オタモイ地区を題材とした「プロデュース人形劇」、演劇に関する育成事業「プロデュース公演」など多彩なプログラムを提供できた。 ②初心者・経験者のための人形劇講座の実施や、子どもから大人までのつながりを生かした人材育成が実を結び、新規劇団の育成や劇団活性化につなげることができた。日頃から人形劇について指導、助言ができる職員体制作りにも努め、公演時や練習時においてアドバイスを行い、協働してより良い作品を作ることができた。利用者アンケートにおいても支援体制、職員のサポート力を高く評価いただいた。 ③課題となっていた市民ボランティアの導入・育成において、今年度は社会貢献、ロビー事業などで多くの学生・市民ボランティアが関わってくれたことによる事業の広がり、活性化が見られ、利用人数にも反映させることができた。 ④社会貢献事業としての福島支援人形劇公演も 5 年目となり、各人形劇団の協力と現地コーディネーターのサポートにより、多くの福島の子どもたちに、人形劇を届けることができた。また、今年度新たな取り組みとして、「地域交流イベント」を実施し工作会や昔遊び、人形浄瑠璃ワークショップなどの体験をとおして来場者との交流を図ることができた。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【やまびこ座】 ①年間上演日数) 133 日(110.8%) ②年間公演数 200 回(100%) ④年間利用者数) 59,220 人(107.6%) ⑤利用者満足度) 98.5%(115.8%)</p> <p>【こぐま座】 ①年間上演日数 145 日(120.8%) ②年間公演数 229 回(114.5%) ④年間利用者数 18,662 人(124.4%) ⑤利用者満足度 88% (103.5%)</p> <p>③新規人形劇団の誕生、育成 3 団体以上 3 劇団 (100%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>①地域若者サポーターとの協同 各施設における地域若者サポーター（基本構想で定義：利用者OBや各施設の地域で若者の活動をサポートしていただける方）をこれまで以上に積極的に声かけを行い、協力・連携をしながら事業の企画をしていく。 ※地域若者サポーター登録目標人数 80人（総合20、ア10、ポ20、豊20、宮10）</p> <p>②ロビーでの若者の個別対応 各施設のロビーは、若者にとって施設を利用する起点となり、各々が活動拠点となる重要な空間であることから、より積極的にロビーワークを中心に若者との関係づくりを進め、若者の居場所としての環境を整えると共に、多様性の若者のニーズの掘り起こしや施設PRの方策を具体的なプランへと発展させる。</p>	<p>①利用証の発行を受けた若者数 14,350人以上</p> <p>②若者登録者の延べ利用数 194,500人以上</p> <p>③自立支援の新規相談登録者数 400人以上</p> <p>④進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数 280人以上</p> <p>⑤登録若者団体数 590団体</p> <p>⑥地域活動サポーターと共に企画した事業に参加した若者の延べ人数 6,000人以上</p>
<p>【達成状況】</p> <p>①重点目標に沿って、地域の方講座を企画するなど、サポーターとの協同を進めることができた。また、町内会等の行事に若者の協力を依頼されるなど、相互連携体制が定着・拡大している。サポーターと若者との顔の見える関係づくりは一定の水準に達したため、今後はサポーターが若者の支援・育成に継続的に関わるような仕組みを作っていく必要がある。</p> <p>②ただロビーにいる若者の話し相手となるだけでなく、定期的に小さな交流会を企画するなど、ロビーを若者支援の拠点として活用する意識が職員の間で浸透した。イベントの企画や手作り本棚の設置など、ロビーでの若者の声が形になった取り組みも見られた。具体的な数値目標は掲げていないが、平成26年度の43,386人から27年度は49,293人に増加した。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①利用証の発行を受けた若者数 14,599人（101.7%）</p> <p>②若者登録者の延べ利用数 215,515人（110.8%）</p> <p>③自立支援の新規相談登録者数 365人（91.3%）</p> <p>④進路決定及び最適な支援機関につながった困難を有する若者数 328人（117.1%）</p> <p>⑤登録若者団体数 317団体（53.7%）</p> <p>⑥地域活動サポーターと共に企画した事業に参加した若者の延べ人数 6,395人（106.5%）</p>

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>■事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民のニーズをとらえたプログラムデザインによる事業実施 ②協会内の他施設利用者向けのプログラムの開発と実践 <p>■管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①計画的な施設の維持管理 ②裏山を中心とした活動フィールドの整備・施設内外の美化 	<p>〈利用人数〉 延べ 5,775 人</p>
<p>【達成状況】</p> <p>■事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年実施の主催事業については、着実に参加者が増加し、一定の評価をいただいている。指導事業として「手稲タンケツツアー（主催：手稲区）」を新規に受託する等、実績を重ねることができた。 ・実践した活動を財団の内部向けに広く周知を行った。今後も先駆的な取り組みを実践し、協会内部のノウハウ蓄積を行っていきたい。 <p>■管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による軽修繕を都度実施したほか、宿泊施設として運営するにあたっての建物の不具合を調査し改修工事を行った。 	<p>【達成状況】</p> <p>〈利用人数〉 延べ 6,410 人 (110.9%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	数値目標
<p>【施設運営等事業】</p> <p>①施設内及び園内の安全管理の徹底 (倒木処理、作業後の農機具撤収確認、危険昆虫・動物等野生生物からの防除等)</p> <p>②自然環境情報及び施設PR(貸室利用拡大)のため、ブログ等による情報発信</p> <p>③施設内外における情報提供を充実し、学習館入館(観覧)の利用増を図る</p> <p>④市民ボランティア及び事業協力者と協働した事業展開</p> <p>⑤冬期来園者に向けた事業プログラムの開発 (屋内・屋外の利点を活用した事業プログラム及び冬期のフィールド活用)</p> <p>⑥部内各施設(青少年山の家、定山溪自然の村)との連携による人材育成</p> <p>【地域活動等事業】</p> <p>①地域と協働した事業の実施</p> <p>②市民ボランティア活動の一環として自然素材を活用した提供事業の実施</p> <p>③人間生活に密接に関わってきた地域環境社会を伝える機会</p>	<p>①学習館入館者 (観覧)の増加 一般来園「大人」 3,300人 うち有料入場者数 1,500人 150,000円 (@100×1,500人)</p> <p>②貸室利用20%増 (利用料金等) 30,000円</p>
<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験農場及び生物教材提供に関しては、適切な維持管理に努め、学校農業体験やココロギ等の生物教材提供について、ほぼ当初の計画どおり実施することができた。 ・水田での稲作体験事業において過去に経験のない疫病の発生が見られたが、関係機関と連携し被害を最小限に食い止めるとともに、利用校へ早期の周知徹底と細かな情報提供を行い、混乱や苦情もなく利用をいただくことができた。 ・市民ボランティア事業では農園・花壇整備を通じて新規登録者と継続登録者が主体的に活動する場面が多く見受けられ、自主活動の内容の充実・連携強化を感じることができた。 ・ホームページやリーフレット・フリーペーパーの有効活用方法を検討し、広報活動の充実に努めていく。 	<p>【達成状況】</p> <p>①学習館入館(観覧) 2,651人(80.3%) うち有料入場者数 1,007人(67.1%)</p> <p>入場料100,700円 (@100×1,007人)</p> <p>②貸室利用 (利用料金等) 12,300円(41%)</p>



公 1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他 1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】 ①多様化する事業ニーズへの対応 ②自主的活動の充実</p> <p>【施設運営等事業】 ①貸室事業におけるサービスの質的向上 ②初心者のための野外活動支援強化 ③市民の企画による自然体験事業支援の推進 ④広報活動の積極的な推進及びビジターコーナーの強化 ⑤能力・専門性を高めるための研修強化 ⑥部内各施設(青少年山の家、北方自然教育園)との連携による人材育成</p>	<p>①平日の施設利用者数の増加 (前年度比 10%増) 430 件</p> <p>②ボランティアの主体的活動実績の増加 550 回</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】 多様化するニーズに対応するため、アクティブシニア向け事業を各種実施し、ほとんどの事業が定員に達し安定的に運営することができた。また、新規利用者の獲得と施設知名度のさらなる向上、冬のキャンプスタイルの提案を目的に新規事業「定山溪ウインターフェスティバル」を実施した。</p> <p>【施設運営等事業】 貸室事業では施設利用者によるキャンプ活動がより充実したものになるよう、年度途中においても貸出物品の更新や入れ替え等を積極的に行った。また、受付時の時間短縮など利用者の利便性向上と事務の簡略化を狙いとして受付システムを再構築し、平成 28 年度より本格的な運用を開始予定。 利用者対応や主催事業等でキャンプ初心者への支援を積極的に行った。試験的に実施した短時間イベント(焚火カフェ、お菓子作り等)も一定の成果が得られた。広報活動においてはソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した施設案内や事業周知を行い、利用者のニーズや目的に合わせた情報提供を積極的に行った。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①平日の施設利用者数の増加 (前年度比 10%増) 582 件 (135.3%)</p> <p>②ボランティアの主体的活動実績の増加 581 回 (105.6%)</p>



重点目標	数値目標
<p>【施設運営等事業】</p> <p>①特色ある事業の実施 平成26年度より実施してきた防災サバイバルキャンプをさらに充実させるとともに、同年度に開発したヒグマトランクキットの有効活用、不登校児対策キャンプ事業の実施検討など特色ある事業やプログラムを積極的に展開します。</p> <p>②地域連携の強化 長期的計画のもと、滝野地区の特性を最大限活用した地域連携のプログラム活動の開発を目指します。平成27年度はそのための調査期間と位置づけ、地域との関係を再構築するとともに資源の発掘を行います。まずは平成29年度をめどに周辺農家と連携し体験活動プログラムの実施を目指します。</p> <p>③部内各施設（定山溪自然の村、北方自然教育園）との連携による人材育成 中長期計画を持って、職員の強化育成を行います。企画力、運営力、技術、表現力、事務能力、専門性の向上などを目的に外部研修、派遣研修、内部研修、実践研修等を計画的に行い、次代を担う職員の育成を目指します。</p> <p>④管理 今まで以上に「安全・安心・環境に配慮した設備の整備」をするとともに利用中の万が一の災害にも十分耐えうるライフラインの確保に重点を置きます。</p>	<p>①利用人数 74,500人</p> <p>②利用満足度 80%以上</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①特色のある事業の実施 防災サバイバルキャンプは災害捜索ゲームの作製、災害救助犬の体験など新たなプログラムを展開した。ヒグマトランクキットは山の家の利用団体への提供プログラムとしてだけでなく、各団体、児童会館への出張プログラムとして展開できた。また、不登校児対象キャンプは調査研究から実施に向けて動き出す準備ができ、各事業が次年度に向けて新たなプログラム展開ができる状況となった。</p> <p>②地域連携の強化 滝野公園管理者との協賛事業、事業協力、情報交換の機会の増加など、よりよい関係づくりができた。また、周辺農家と連携し、じゃがいもの収穫体験を主催事業の参加者に、また札幌市児童会館の児童に提供することができた。</p> <p>③部内各施設（定山溪自然の村、北方自然教育園）との連携による人材育成 部内各施設との連携による人材育成について、また、スケールメリットを生かし活動協会各施設との連携事業も協同で行うことができた。</p> <p>④管理 開館してから27年と経年劣化による破損が多く、利用者にも不便をかける破損箇所については直ちに修繕を行った。また、万が一の災害に備え、備蓄品を充実させ、売店もスタートした。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①利用人数 73,707人 (98.9%)</p> <p>②利用満足度 90.6%</p>

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の進行等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>【地域活動等事業】 市民ニーズを捉えたサービスを安定的に提供する。</p> <p>【施設運営等事業】 ①施設管理におけるエネルギー使用量の節減を目指す。 ②札幌市の施策を反映し将来を見据えた事業展開を行う。</p>	<p>①男女共同参画センター 男女共同参画の啓発事業回数 65 回</p> <p>②市民活動サポートセンター 研修学習事業（講座）定員充足 80% 相談件数 900 件</p> <p>③環境プラザ 環境教育プログラム参加者数 前年度比 5%増</p> <p>④情報センター ライブラリーサロン実施団体 20 団体</p> <p>⑤4 施設全体 施設総利用者数年間 700,000 人</p>
<p>【達成状況】</p> <p>【地域活動等事業】 利用者からの要望に応えたカップ式やSAPICA等の電子マネー対応の自動販売機設置に伴う収益が前年度より増収。また、利用者からの要望が多い椅子の貸出についても前年度より増収となり、市民サービスの向上を図ることができたと評価できる。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①施設管理におけるエネルギー使用量の削減 館内の不要な照明の消灯や1階エントランスやホールへのエコシルフィー（空調システム）の効果的利用により、エネルギー使用量の削減を目指した結果、原油換算前年度比 97%の節減となった。</p> <p>②札幌市の施策を反映し将来を見据えた事業展開 「男女共同参画さっぽろプラン」「市民まちづくり活動促進基本計画」など、札幌市の施策や国の施策を反映した啓発事業や研修学習事業の提供を行うことができた。また、先進的な取組を行う企業や多様な団体との連携によって、各分野の拠点施設として将来を見据えた事業に取り組むことができた。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>①男女共同参画センター 男女共同参画の啓発事業回数 115 回（176%）</p> <p>②市民活動サポートセンター 研修学習事業（講座） 定員充足率（99%） 相談件数 567 件（63%）</p> <p>③環境プラザ 環境教育プログラム参加者数 前年度比 1.5%増（5,511 人）</p> <p>④情報センター ライブラリーサロン実施団体数 10 団体（50%）</p> <p>⑤4 施設全体 施設利用者数 657,213 人 （93.8%）</p>

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

重点目標	数値目標
<p>■事業</p> <p>① 新規事業・クライアントの開拓</p> <p>② 「さっぽろ雪まつり」関連事業の方向性の整理と確立</p> <p>■管理</p> <p>① 当協会保有物品の適正管理とメンテナンスの徹底 (必要に応じた新規備品の購入)</p>	<p>① イベント事業収益 総額 4,800 万円以上</p> <p>② コスト管理 各事業単体における 実収益率 35%以上の確保 (合計 1,680 万円以上)</p>
<p>【達成状況】</p> <p>■事業</p> <p>雪まつり大通り 10 丁目会場統括業務など大型事業をはじめ、各区において地域振興につながる住民と密着したイベントを新規受託。各事業でコーディネート力を発揮し、クライアントとの信頼構築を強固にした。</p> <p>■管理</p> <p>保有物品の再点検、新規備品購入により幅広い事業を展開する可能性を広げている。各セクションとの連携によりニーズに応える物品管理を追求している。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>① イベント事業収益 総額 7,546 万円(150%)</p> <p>② コスト管理 各事業単体における 実収益率 35%以上の確保 35% (合計 2,600 万円) 以上を確保</p>



5. 各課（各施設）の事業実施報告

（1）こども育成課【指定管理事業：児童会館 104 館】

【受託業務：ミニ児童会館 94 館／放課後子ども館 5 館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年活動 支援事業	「子育てサロン」 乳幼児と保護者に対する子育て支援事業。常設サロンの増加に伴い、実施回数が増える中で、保護者との関係性も深まり、地域から必要とされる場として定着している。	保護者 138,674 人 幼児 158,025 人
	「放課後児童クラブ事業」 留守家庭児童の放課後の居場所として、適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図った。東区雁来地区の人口増加に伴い、11月より札幌緑小放課後子ども館が開設した。	児童クラブ在籍数 14,169 人 (平成 28 年 3 月末現在)
	「中・高校生夜間利用等運営事業」 中高校生の居場所づくりとして週 2 回夜 9 時まで開館時間を延長する「ふりーたいむ」を実施した。ポスター図案を募集するポスターコンテストを実施し、投票会場を地下歩行空間とすることで、市民への認知度を高めることができた。	実施館：101 館 中学生 26,220 人 高校生 37,967 人 ポスターコンテスト 総応募数 24 作品
体験機会 創出事業	「げんキッズフェス 2016～おいでよ じどうかいかん～」 こどもの声を実現した各館事業の展示発表の他、店舗での仕事体験や模擬児童会館の運営等、遊びをとおした体験活動により、多くの子どもたちや大人の繋がりを深めた。	2/21 4,200 人
	「環境活動（環境コンテスト、プルタブ大作戦事業）」 プルタブで交換した車いすを小学校 3 校へ寄贈した。環境への取り組み事業として、札幌市環境局主催事業「さっぽろこども環境コンテスト 2015」で 2 つの実践発表をした。	プルタブ贈呈式 2/21 環境コンテスト 12/5 2 館 19 人
	「東区多世代交流事業」 地域に開かれた児童会館を目指し、多世代交流事業として味噌作りを実施した。町内会や老人クラブをはじめとした、地域住民や児童会館利用者家族などが参加し、味噌作りでの学びをとおし、楽しみながら交流が図られていた。	1/30、2/13 延べ 63 人
	「野外・自然体験活動事業(キャンプ、畑づくり、遠足等)」 滝野自然学園・青少年山の家、定山溪自然の村など、野外施設課と連携したキャンプ事業を実施した。百合が原・屯田児童会館合同の滝野自然学園を利用したキャンプ事業では、冬の自然を満喫した事業展開となった。	滝野自然学園利用 7 件 延べ 185 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会 創出事業	「伝統芸能活動事業（伝承あそび、生け花、茶道、将棋等）」 季節に合わせた行事を各館で取り入れ、遊びの伝承などを行った。百人一首大会など各区で実施。	通年
	「体力増進・スポーツ事業（日常あそび、外あそび等）」 各館での日常活動以外でも、北海道内のプロスポーツチームを応援するプロジェクトを立ち上げた。プロの試合を間近で観戦することで、子どもたちが未来に夢や希望を持つ機会へとつながった。	レバンガ北海道 応援プロジェクト 延べ 96 人
人材育成 事業	「リーダー育成事業『クラブ活動』」 各児童会館において多くのクラブ活動が実施された。クラブ活動をとおして、責任感と仲間意識を育み、リーダーの育成に取り組むことができた。	クラブ活動実施数 362 件 登録人数 5,677 人
	「子ども運営委員会」 児童の自主性や創造性を生かし、主体的な活動の充実を図るため、児童の意見を反映した活動の場となることを目指し、全館で取り組んだ。会館のルールづくりやイベントの企画に積極的に関わり、児童たちの成長が図られていた。	198 館(全館実施) 1,363 人
	「児童会館実習指導業務」 平成 27 年度は大学 2 校、専門学校 2 校より児童会館での実習生の受け入れを行った。日数や期間はそれぞれ異なるが、学生を受け入れることにより、指導的立場の児童会館職員のスキルアップにつながった。	通年 受入学生数 179 人



平成 27 年度 札幌市児童会館（104 館）およびミニ児童会館（94 館）利用状況

(1) 利用状況

(人)

区分 利用者区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人数	利用人数の内数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	30,884	2,294,479	235,754	1,247,586	338,862	99,262	60,595	312,420
ミニ児童会館	27,815	1,270,122	6,799	1,025,028	215,877	1,449	1,047	19,922
占用利用	11,958	184,354	9,094	34,383	38,778	25,882	4,364	71,853
総利用		3,748,955	251,647	2,306,997	593,517	126,593	66,006	404,195

総利用人数(前年度3,728,260人・前年比 100.6%)

(児童クラブ在籍数)

(人)

区分	平成27年4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	平成28年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	4,546	3,967	2,999	1,705	639	279	14,135	16,849	2,778	4,924	4,031	2,905	1,493	588	252	14,193

4月末日現在の在籍数の比較(前年度12,327人・前年比114.7%)

(学校からの直接来館届出数)

(人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
クラブ員の兄姉	0	4	36	134	156	102	432
特別支援学級等	4	1	8	4	3	5	25
特認校	43	42	29	33	10	9	166
その他	0	3	6	3	2	0	14
計	47	50	79	174	171	116	637

(前年度544人・前年比117.1%)

(障がい児受け入れ数)

(人)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	内訳	
								クラブ	直来
普通学級	90	92	69	65	33	34	383	312	71
特別支援学級	51	59	74	66	50	33	333	169	164
特別支援学校	2	2	7	1	2	0	14	1	13
計	143	153	150	132	85	67	730	482	248

(前年度人544・前年比134.2%)



(2) こども劇場課

①やまびこ座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (一般対象)	「東区市民劇団育成事業」 東区在住の一般市民から公募し、演劇ワークショップを実施。市民劇団「オニオン座」を立ち上げ、その成果発表の公演を実施。	6/20～10/20 724人
	「あしり座技術向上講習会」 各地域の主体的、総合的取組みを支援することにより、有形・無形の歴史的な文化遺産を活かしたまちづくりや伝統文化の確実な継承と地域の活性化に資することを目的とした講習会を実施。	7/7～2/19 263人
	「人形浄瑠璃講習会／義太夫講習会」 人形浄瑠璃講習会では、人形浄瑠璃の特殊な操作方法である「三人遣い」を学んだ。義太夫講習会では人形浄瑠璃の義太夫・三味線の講習会を実施。	5/27～2/19 (浄瑠璃) 299人 (義太夫) 437人
	「第44回札幌人形劇祭」 道内及び札幌で活動する人形劇団による、審査員による人形劇のコンクール形式の連続公演、及びワークショップを実施した。「大人部門」と「こども部門」合わせて17団体が参加。	11/21～11/23 675人
人材育成事業 (こども対象)	「やまびこ座遊劇舎」 小学3年生～6年生対象、劇あそびや表現あそびなどをおして、舞台表現、演劇表現などを体験。	5/22～12/13 1,092人
	「劇☆やまびこ座 YOUTH」 中高校生を対象に、劇づくりをおして表現する喜びや自主性、異年齢間の交流を目的とした演劇活動を実施。	6/7～1/31 756人
	「ぎ・にんぎょうじょうりゅうりゅうクラス」 中高校生を対象とした人形浄瑠璃の義太夫・三味線講習会を実施。	6/2～1/19 374人
	「こども舞台体験プログラム『ふれアート』」 日本の伝統や心に触れる機会を提供するとともに、地元劇場とそこで取り組んでいる舞台芸術に親しみを持ってもらうよう実施。人形浄瑠璃三人遣い体験、義太夫・三味線体験、鳴物体験、伝統文化、舞台裏方体験を実施。	8/29～1/17 253人
体験機会創出 事業	「元町北小学校アウトリーチ事業」 子どもの表現活動の指導者として、地域の小学校にインストラクターを派遣し、人形劇講座を実施、劇団育成を図った。	9/11～12/16 754人
	「やまびこ座読み語りの会」 図書コーナーの活用、幼児の利用促進を目的に、ボランティアグループの協力で、平日に絵本、紙芝居などの読み語りを実施。	4/9～3/16 847人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域連携事業	「2015 やまびこ座夏まつり」 やまびこ座近隣諸団体と連携して実行委員会を組織し、劇場全館を使って地域に向けたお祭りを実施。地域交流、地域貢献を図る。ゲームコーナー、お化け屋敷、人形劇などを上演。屋外では、町内会、子ども会などによる出店があり、賑わった。	8/8～9 4,719 人
公演事業	「被災地支援活動①GW チャリティー公演」 東日本大震災チャリティー公演を企画、実施。人形劇等の連続公演の他、工作会等を実施。入場料収入等の収益は、全て支援活動費とした。	5/4～5/6 1,268 人
	「やまびこ座プロデュース公演」 劇場主催講座「東区市民劇団オニオン座」、「遊劇舎」、「劇☆やまびこ座 YOUTH」の参加者による、創作演劇の制作、上演。	11/4～3/21 1,296 人
	「人形劇フェスティバル 2016 年さっぽろ冬の祭典」 札幌人形劇協議会との共催事業。市内の人形劇団合同による人形劇の上演、及びワークショップを実施した。	2/6～2/7 886 人
その他事業	「福島県への継続文化支援活動 2015」 放射能被害を受けた子どもたちの心のケアやコミュニケーション交流、地域コミュニティの構築を目的に福島県内の保育園、公共施設を中心に人形劇等の上演を実施した。	5/21～3/13 会場：福島県 観客数：6,327 人 参加劇団：19 団体
	「こどもの劇場通信」 やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等を主な内容に、広く市民に PR を行った。	隔月発行 12,000 部
	「人形劇スタンプラリー」「事業サポーター制度」「物品販売事業」 観劇者の増加、リピーター確保を目的に、スタンプラリーを実施。活動協会事業「さっぽろスマイルキッズ」の一環として、事業サポーター制度を導入した NPO 法人や同会の協力を得て、手づくりおもちゃ、パペット人形、オリジナルグッズなどを販売した。	通年
	「人形浄瑠璃 2016 さっぽろ「人形浄瑠璃芝居あしり座公演」」 北海道では触れる機会の少ない伝統芸能に親しんでもらうため、人形浄瑠璃公演を実施した。	2/20～2/21 498 人
	「企画展示」 人形劇場の役割とその効果、施設紹介・活動内容などを広く市民に伝える機会として、企画展示を実施した。北区児童会館合同行事内において実施し、多くの親子連れに興味を持ってもらえる機会となった。	通年 110 人

②こぐま座

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業 (一般対象)	「初心者・経験者のための人形劇講座」 人形劇人の育成、公演活動の活性化を図ることを目的に実施。初心者講座は、人形劇の楽しさを体験する機会とし、経験者講座では、人形劇の質向上を図り、グループ活動の支援を行った。	4/23～7/19 (初心者) 416人 5/12～11/1 (経験者) 837人
人材育成事業 (こども対象)	「こぐま座こども人形劇団」 市内の小学3年生から6年生を対象に、人形劇をとおして、様々な表現活動を展開。子どもたちならではの作品づくりを行った。	5/14～3/20 895人
	「パペットユーススクール」 人形劇スクール。中高生の受入れの場として開講し、中高生劇団の育成を目指した。	6/9～1/24 422人
公演事業	①「夏の特別公演」②「春の特別公演」 普段あまり観劇することの少ない道内外の専門人形劇団を招待し、札幌の子どもたちや市民の方々に良質の人形劇を提供した。	①7/25～8/5 延べ2,106人 ②3/29～3/30 延べ148人
体験機会創出 事業	「あそびの劇場《冬の陣》」 中島児童会館との合同企画。2施設の特質、さらに冬の中島公園という環境を生かし、ごっこあそびと中島公園ウォークラリーを組み合わせた子どものための事業を実施した。	1/14 26人
	「初心者のための読み語り入門講座」 中島児童会館との協働事業として、絵本の読み語りを行うボランティアの養成講座を実施。講師による座学やワークショップをとおして読み語りの技法や子どもの文化、子どもとふれあうための表現方法を学んだ。	11/30～12/17 延べ174人



■こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区 分	件数(件)	人数(人)	稼働率
ホール	694	27,840	室利用総人数 46,915
会議室	332	2,716	
研修室	520	8,557	
美術工作室	523	7,802	
ロビー・展示室・図書コーナー	-	11,839	
研修・見学	-	466	
総 利 用 数	2,069	59,220	

利用件数 (前年度 2,294 件・前年比 90.2%)

利用人数 (前年度 56,552 人・前年比 104.7%)

【ホール利用内訳】

観劇者数	無料(人)	1,400
	招待(人)	1,396
	有料(人)	14,631
	合計(人)	…(a) 17,427
出演者の数(含むりハーサル)	…(b)	10,413
出演者観劇者総数(人)	…(a+b)	27,840
上演回数(回)		200
上演日数(日)		133
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		167
上演1回あたりの観客数(人)		87



■こどもの劇場「こぐま座」

【利用状況 (ホール利用内訳)】

観劇者数	無料(人)	1,372
	招待(人)	627
	有料(人)	10,022
	合計(人)	…(a) 12,021
出演者の数(含むりハーサル)	…(b)	5,211
出演者観劇者総数(人)	…(a+b)	17,232
研修・見学	…(c)	1,430
利用者総数	…(a+b+c)	18,662
上演回数(回)		229
上演日数(日)		145
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		255
上演1回あたりの観客数(人)		53

利用人数 (前年度 17,493 人・前年比 106.7%)



(3) 企画事業課【指定管理事業：若者支援施設 5 館】

①若者支援総合センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
自立支援事業	「自立支援プログラム（仕事体験：ジョブトレーニング）」 来所する若者にとって、従来の「採用試験」が大きなハードルになっていることから、職場体験を積極的に活用した就労支援を行っている。個々の状況や目指す目標によって、数日間から2週間程度の体験（3週間以上はサポステ事業として実施）まで、個別に企業を開拓してマッチングを実施した。なお、若者の社会的自立に関する啓蒙のためにも、体験を一過性の機会ではなく、継続的に実施していくために、企業との連携に焦点をあてた取り組みを行っている。	通年実施 延べ 2,145 人
体験機会創出事業	「施設デザイン検討プロジェクト」[新規] 若者が主体的に施設や地域の意思決定に参画することを目指し、地域若者サポーターとの協同のもと、総合センターのロビー空間づくりに関連するプログラムを企画検討した。合計 25 回の活動を行い、案内ボードや本棚の制作や、メンバーの自主企画として若者のプレゼンテーションイベントを3回開催するなどの発展があった。	通年実施 延べ 262 人

②アカシア若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「合同スポーツ交流会 YOUTH CUP」 バスケットボールを通じた交流を目的として、6チームが実行委員としてアカシアと協同で大会の企画、運営を行った。昨年度より積み上げてきた関係性や経験により、大会運営や企画会議がスムーズに進行している。大会の運営だけでなく、どれだけチーム同士で交流が図れるかという実践にも意識が向いている。	4/23～3/30 延べ 705 人
	「若年者対象マイプロデュース事業」 音楽活動を行っている高校生が自分たちの出演するライブを企画、運営する事業。一昨年度から継続して実施している。11月には受験に伴って参加者が大幅に変更になったが、継続して参加しているバンドを中心に新たな雰囲気でのライブとなった。	4/6～11/8 延べ 307 人

③ポプラ若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出 事業	「地域アプローチ 白石 MAP プロジェクト」 フリーペーパーの作成を通じて白石区の「人・物・事」を知り、地域意識を高めるとともに地域活性を担う人材を育成した。また、同世代と主体的に作り上げる過程を経験することで若者同士の交流を促進した。	7/4～2/3 延べ 102 人
	「雪まつり人材育成講座」 第 67 回さっぽろ雪まつりつどーむ会場・若者実行委員会を結成し、実行委員会による各アトラクションの運営補助及び会場を盛り上げる企画の立案、運営を行った。例年より 1 週間開催期間が延び、人員の手配やシフト調整などにも苦労はあったが、終了後の反省会では、他団体や他大学のメンバーともすっかり打ち解けあい、達成感の余韻に浸るとともに、来期に向けての意欲も確認しあっている姿を頼もしく感じた。	11/11～3/2 延べ 1,169 人

④豊平若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出 事業	「若者舞台芸術祭 SapporoMixart」 ダンスや演劇など活動ジャンルの異なる若者が長期間に亘り、ワークショップや稽古を行い、集大成として舞台（サンピアザ劇場）で作品を発表した。若者たちは、演技や演出方法について、連日ミーティングや稽古を重ねながら作品を作り上げ、当日の 3 ステージはいずれも満席の大盛況となり、発表後は達成感を味わっていた。	10 月～3 月 延べ 1,447 人 [発表] 3 月 12 日、13 日 観客 455 人
人材育成事業	「まち創造スタッフ養成講座」 前期は、イベントの参画に必要な基礎知識や技能を座学や体験を通じて学びながら、「だい・どん・でん！」や地域のイベントの準備や運営に実践的に関わった。後期は、まちのにぎわいづくりを目的とした自主イベントや依頼を受けた地域イベントの実施を通して継続的な支援を行った。	5 月～3 月 延べ 484 人

⑤宮の沢若者活動センター

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加促進 事業	「宮の沢若者活動センター祭 2015」 実行委員会形式で事前準備から若者と一緒に活動する機会を設け、若者の意見を取り入れながら、ステージや屋台、地域にある福祉施設による出店などを設置し、誰もが楽しめるおまつりを通して地域交流・世代間交流を図った。	8/22～8/23 延べ 9,823 人
地域連携事業	「地域ネットワーク構築」 宮の沢若者活動センター・宮の沢 1 条町内会・Engine-Link に登録する若者団体が協働し、若者の社会参加促進を図るために、「地域活性」「18 歳選挙権」などをテーマにしたイベントを開催した。	10/31、11/14 17 人

平成 27 年度 若者支援施設利用状況

(人)

内訳	総合	アカシア	ポプラ	豊平	宮の沢	合計
自立支援事業	14,731	0	0	0	0	14,731
若者	10,696	0	0	0	0	10,696
一般	4,035	0	0	0	0	4,035
交流促進事業	719	2,159	1,064	2,497	1,453	7,892
若者	713	2,032	856	2,326	1,115	7,042
一般	6	127	208	171	338	850
社会参加事業	124	3,350	1,785	3,490	9,984	18,733
若者	120	2,356	1,709	2,848	6,697	13,730
一般	4	994	76	642	3,287	5,003
ロビー事業	17,514	6,383	5,846	9,158	15,225	54,126
若者	17,012	5,603	5,132	8,008	13,538	49,293
一般	502	780	714	1,150	1,687	4,833
貸室利用	30,527	45,719	14,568	32,587	61,569	184,970
若者	26,942	37,912	10,512	26,887	32,501	134,754
一般	3,585	7,807	4,056	5,700	29,068	50,216
合計	63,615	57,611	23,263	47,732	88,231	280,452
若者	55,483	47,903	18,209	40,069	53,851	215,515
一般	8,132	9,708	5,054	7,663	34,380	64,937
(各施設前年度比)	(116.8%)	(99.0%)	(123.4%)	(109.2%)	(98.5%)	(105.9%)



(4) 企画事業課【地域活動等事業：野外活動系事業、自主運営施設：滝野自然学園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出 事業	「たきの森のようちえん」 2歳から就学前の幼児とその保護者を対象とした自然体験活動を実施。子どもたちが自然と人との関わりをとおり、優しさで生きる強さを育んだ。	通年 1,475人
	「たきの森のがっこう」 小学生を対象とした自然体験活動プログラム。自然の中での活動をとおり、自然の営みや面白さに触れ、人と自然との密接なかかわりを体験的に学ぶ機会となる事業を実施した。	通年 490人
	「リトルキャンプ」 自然体験活動プログラムをとおり、新しい仲間との出会い・協力・目的達成までの過程で自立心や協調性、社会性を育む事業として実施した。	8月（2泊3日） 3月（1泊2日） 参加人数：95人
	「お父さんと過ごす週末キャンプ」 小学生の児童と父親を対象とした週末宿泊型の自然体験活動。日常的に希薄となりがちな親子間のつながりや子どもを取り巻く生活環境を見つめなおす機会として実施した。	7/4～7/5、1/30 43人
職員派遣事業	【その他指導事業】 自然体験活動やレクリエーション、各種指導者の養成、リーダー養成等を目的とした企業や団体の業務依頼のもと、実技指導、講義、講演活動をとおり、よりよい社会作りに寄与した。 ・幼保小連携自然体験活動なかよしキャンプ ・手稲タンケンツアー [新規] ・ホワイトスクール 2016 ・親子でわくわく冬あそび	通年 614人
施設管理運営 事業	「滝野自然学園プログラム開発」 滝野自然学園の利用促進、価値向上を目的に長期的な運営計画を立て、地域の特性をいかした活動プログラムを再考し、これまで以上に活動の幅を広げ新たな可能性を追求した。	通年 6,410人
	「滝野自然学園の管理運営、貸室事業等」 利用促進、価値向上を目的に長期的な運営計画を立て、「人と人、人と自然を深くつなげる」をテーマに運営を行った。	

平成27年度 滝野自然学園利用状況

利用人数

	延べ人数	実人数
合計	6410	4612

前年度比	104.4%	119.7%
------	--------	--------

利用団体数

	団体数	うち主催事業
合計	105	45

前年度比	107.1%	140.6%
------	--------	--------

(5) 野外活動課【指定管理事業：北方自然教育園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「農業体験事業」 市立幼稚園・学校の子どもたちに農業体験の機会を通じて自然環境や食べ物大切さを理解していただく機会として実施した。	10月～2月 3,716人 延べ103校
	「教材用生物の提供」 昆虫や植物の生態を理解する機会の提供を目的に市立幼稚園・学校向けに教材用生物（イネ・コオロギ・カイコ他）を提供した。	6/4～6/5 219人（教員） 延べ215校
	「自然体験学習機会の提供」 自然素材を活用したものづくり事業（工作教室などの創作活動）や季節、催事にあわせた事業を実施し、利用促進を図った。	5月～1月 101組 406人
地域連携事業	「自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流事業」 景観美化のための園内環境整備や体験農場整備等、市民ボランティアによる活動により、市民同士の交流促進や市民による自主活動を支援した。 ※市民ボランティア事業（全体研修2回、自主活動64回、事業支援4回）	通年 210人
学習支援事業	「自然観察、飼育栽培に関する研修事業」 自然環境学習・研修を実施し、学習活動の支援を図った。ボランティア等市民の協力を得ながら、地域の自然環境について学習する機会として実施した。	6～3月 104人

平成27年度 札幌市北方自然教育園 月別利用状況一覧表

月	施設利用								体験農場								自然体験学習会	自然ふれあい事業	その他事業等(ボランティア等)	事業	合計										
	学校・園		一般				小計		学校・園				小計		組数	人数					組数	人数	組数	人数	組数	人数	組数	人数			
	校数	人数	団体	個人	人数計	団体	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数															人数	校数	人数
4	0	0	0	0	245	245	0	245	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	35	23	35	23	280	
5	3	131	4	411	485	896	7	1,027	3	131	0	0	0	0	0	0	0	3	131	29	97	12	12	0	32	41	141	51	1,299		
6	25	1,315	1	69	238	307	26	1,622	4	129	20	1,155	0	0	0	0	24	1,284	5	20	1	1	0	260	6	281	56	3,187			
7	8	484	1	39	568	607	9	1,091	0	0	0	0	0	0	8	484	8	484	20	65	0	34	0	36	20	135	37	1,710			
8	2	76	3	71	986	1,057	5	1,133	2	76	0	0	0	0	0	0	2	76	41	141	0	0	0	42	41	183	48	1,392			
9	14	710	5	244	596	840	19	1,550	6	289	8	431	0	0	0	0	14	720	7	22	0	0	0	12	7	34	40	2,304			
10	21	981	5	91	333	424	26	1,405	0	0	11	570	9	384	0	0	20	954	0	0	7	8	0	11	7	19	53	2,378			
11	18	43	0	0	167	167	18	210	0	0	18	43	0	0	0	0	18	43	0	0	0	0	0	10	0	10	36	263			
12	12	20	0	0	92	92	12	112	0	0	12	20	0	0	0	0	12	20	0	0	0	0	0	12	0	12	24	144			
1	2	4	0	0	103	103	2	107	0	0	2	4	0	0	0	0	2	4	2	5	1	1	0	12	3	18	7	129			
2	0	0	1	36	84	120	1	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	12	1	16	2	136				
3	0	0	0	0	108	108	0	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	15	0	23	5	38	5	146			
合計	105	3,764	20	961	4,005	4,966	125	8,730	15	625	71	2,223	9	384	8	484	103	3,716	104	350	27	75	23	497	154	922	332	13,368			

(6) 野外活動課【指定管理事業：定山溪自然の村】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出 事業	「昆虫博士キャンプ」[新規] 10組定員のところ42組の方に申し込みをいただき、市民の関心の高さをうかがうことができた。昆虫採取の仕方や生息する場所などを学習できる機会を提供した。	8/8 38人
	「大人のためのプレミアムキャンプ」 地域企業の協力を得て、軽登山やワイナリー見学、星空観察等を実施した。自然体験活動の素晴らしさや楽しさを実感していただくことができた。	6/6～6/7 12人
	「ようこそ北海道ファミリー」[新規] 北海道に転勤などで移住した家族に対して、スノーシュー体験やかまくら作りなどのプログラムを通じて、北海道ならではの冬の楽しみ方、暮らしの工夫を味わってもらい、参加者交流を図った。	12/6、1/17、2/21 延べ71人
	「親子の自然遊び」 自然体験活動を取り入れた子育て支援とし、幼児と保護者を対象に自由に「自然遊び」を体験できる機会を提供した。保護者同士が気軽に集い仲間作りと情報交換ができる場となるよう実施した。	6月～3月 延べ340人
地域連携事業	「定山溪ウインターフェスティバル」[新規] 野外での映画上映を行い、冬の野外活動に興味をもっていただく機会とした。キャンプや野外アクティビティに興味を持つ家族等、小グループが多く訪れ、スノースクリーンで映像を楽しんでいた。	1/23 166人
人材育成事業	「ボランティア登録、活動支援事業」 利用者及び事業参加者の各種自然体験活動をサポートするボランティアの育成と活動支援を実施。多様な場面で市民と関わる機会を提供し、技術や知識伝承など市民による伝え合いの活性化を図った。	通年 登録者数35人 活動日数104日
	「ボランティア自主企画事業」 施設利用者を対象とした自然環境への興味を引き出すとともに利用者間交流の機会とし、ボランティアは各アクティビティの企画から運営まで幅広く活動した。	4月～12月 延べ388人
情報提供事業	「ビジターコーナー」 季節に応じた定山溪周辺の動植物及び風景写真の展示を実施。また、各種自然体験の活動提案を強化することで、定山溪地区の恵まれた自然環境と施設PRに繋がったとともに、利用者の自然に関する興味・理解を深める機会になった。	通年・随時実施

【平成27年度施設利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)
コテージ	2,323	9,131
テントハウス	892	3,981
テントサイト	1,764	5,023
小計	4,979	18,135
見学者	-	710
利用人数合計(小計+見学者)	-	18,845

※利用件数(前年度4,132件・前年度比120.5%)
 利用人数(前年度15,808人・前年度比119.2%)



(7) 野外活動課【指定管理事業：青少年山の家】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出 事業	「自然観察ハイキング」 広く市民の学ぶ意欲を支援するとともに、自然に親しむ機会を提供することを目的に実施。親子コースは、遊びを取り入れ興味をもってもらえるプログラムを意識した。大人コースは、継続参加者を中心により雰囲気の中で事業が進んでいた。	5/17、6/28、9/6、10/4、 2/21 延べ 193 人
	「防災サバイバルキャンプ」 有事の際に生き抜く手だてを体験的に学習するとともに、便利な暮らしを見つめ直し、自分の手足で生き抜く力を見つける活動を行うことを目的に実施した。	6/20、7/12、8/22、 10/10～10/11、12/12、 2/27～2/28 延べ 113 人
	「学びの支援団体 さぼーと事業」 児童会館で実施している学びのサポート事業との連携事業であり、参加対象の中学生に体験プログラムを提供した。子どもたち、スタッフが自然の中で交流を深めていた。	9/27 28 人
	「はじめてのスキーキャンプ」 スキー経験の少ない小学校低学年の児童を対象として、雪と親しみ、スキーの魅力を感じてもらうことを目的に実施した。スキーの上達とともに、仲間と協力する姿、はじめてのことに挑戦する姿が目を追うごとに多く見られるようになった。	1/9～1/11 42 人
	「ボランティアスタッフ活動支援」 山の家で活動するボランティアスタッフに対して、各種活動の支援や活動機会の提供を行った。主催事業や利用団体からの要望に応じて自然観察や天文、陶芸などの指導を依頼した。 (登録者：27 人)	通年 35 回 延べ 103 人
人材育成事業	「キャンプリーダー研修会」 大学生、専門学校生を対象として、子どもたちの自然体験活動を支援するボランティア指導者の育成を行った。仲間づくりと自分たちで考え行動することに重点をおいて進めた。	9～3 月 延べ 43 人
団体支援事業	「ヒグマトランクキットプログラムの提供」 北海道の固有種であるヒグマの生態について正しく理解するとともに、大都市でありながら野生動物を身近に感じることができる札幌市に、より愛着を深めてもらうことを目的に実施した。山を家の利用団体や札幌市内の小中学校、児童会館などの各団体に出張し、ヒグマの毛皮に触れるなどの体験活動を交えながら、野生動物との共存について子どもたちに伝えた。	通年 延べ 837 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
団体支援事業	「野外教育、施設に関する情報の発信」 施設利用団体の利便性向上、施設情報の提供を目的にホームページのリニューアルを実施した。施設紹介、事業の申込のほかにも宿泊学習で利用する子どもたちの自主学習や事前・事後学習への活用も視野に入れ、今後も更新作業を行っていく。また、子ども向けの事業を掲載した情報誌『キャンプのちから』を野外活動施設合同で発行し、情報発信を行った。	通年
施設管理運営事業	「青少年山の家貸室事業、物品貸出等」 毎月の全体職員会議の中で、利用者アンケートの声などから、施設の有効活用について模索した。また、歩くスキーの使用中の破損が多く入れ替えが必要であることや、部屋の有効活用についての計画策定など担当局と調整し、利用者にとって使いやすい施設づくりを目指した。	通年

主催者	項目	累計		
		団体数	実利用者数	延利用者数
学 校	幼稚園等	33	1,381	2,444
	小学校	368	23,301	39,399
	中学校	65	4,980	6,906
	高校	19	1,369	3,158
	盲聾養護学校	1	12	24
	専門学校	2	77	154
	大学	3	19	35
	その他の学校	4	57	109
青少年 団体	少年団体	77	3,586	6,981
	青年団体	14	578	1,303
指導者 団体	学校教育関係	0	0	0
	社会教育関係	1	12	24
親 子		12	134	253
官公庁		42	2,516	4,766
その他		119	4,233	7,603
主催事業		21	425	548
計		781	42,680	73,707

(8) 市民参画課【指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
活動支援事業	「女性創業コーディネーター育成セミナー」(男女共同参画センター) 女性起業を支援する女性創業コーディネーターの育成を目的に、必要な知識や仕組み、考え方などを学んだ。	7/6～8/6 延べ 121 人
	「お仕事研究会」(男女共同参画センター) 「自分らしい」働き方をしている社会人の話を聞き、中学生・高校生が「性別によって職業や行動を制限されない自分らしい生き方」について考え、同世代同士で話し合う場を提供した。	9/24 11 人
	「働く女性のためのキャリア支援事業『シンポジウム』」(男女共同参画センター) 「札幌が『女性が活躍しやすいまち』No.1 になるために」をテーマに、女性が活躍しやすい環境づくりについて考える機会として講演、シンポジウムを実施した。	2/24 53 人
	「サロン事業」(市民活動サポートセンター) 各回話題提供者(市民活動団体)を招き、協働の基礎となる市民活動団体の交流と情報交換の機会を提供した。	4/24～9/5 302 人
	「子どもボランティア体験プログラム」(市民活動サポートセンター) 市民活動団体でのボランティア体験プログラムを提供することで、社会参加意識の醸成と社会的課題への気づきの機会とした。	8/1～8/17 48 人
	「環境プラザであそぼ！」(環境プラザ) 環境活動を行っている団体を募集し、第 2 第 4 土曜日に子ども向けのミニコーナーを出展する機会を設け、団体と子どもたちの接点を作った。	6/13、6/27、9/5、9/12、 9/26、12/12、12/26 延べ 263 人
人材育成事業	「産後の夫×産後の妻～ホントは優しくしたいのに」(男女共同参画センター) パートナーとのよりよいコミュニケーションを考え、性別役割分担意識によらない関係をつくることを目的に、産前産後のパートナーとのあり方、産後の子育てについての講演会を行った。	8/29 33 人
	「メンズカフェさっぽろ」(男女共同参画センター) 男性が多様な選択肢を見つけ、仕事でも家庭でもさらに活躍していく仕掛けについての情報交換を行うことを目的に実施した。	3/7、3/16 延べ 24 人
	「保育者人材育成事業」(男女共同参画センター) 子育てにおける社会の役割や、子育てに関わる際にジェンダーに対する視点を持つことの重要性等についての講義を行った。	2/23、2/25、3/3 延べ 82 人
	「NPO との出会い創出事業マチなか×NPO」(市民活動サポートセンター) 市民活動団体による販売、ワークショップ等の出展、ステージ発表をとおした活動PRを行った。団体による実行委員会を組織し出展内容や方法についての検討を行った。	12/8～12/10 延べ 4,940 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業	「さっぽろ子ども記者」(市民活動サポートセンター) 小学生が地域の NPO 団体への取材活動を行い新聞を作成し、発表を行った。	12/19 3 人
	「市民団体活動フォーラム」(市民活動サポートセンター) 市民活動の視点から今後の地域社会の在り方について実践報告や事例紹介等を行い、まちづくりに必要なつながりやヒントについて学んだ。	3/15 62 人
	「コーディネート業務～学生サポーター事業～」(環境プラザ) 長期休みの自由研究講座(小さな研究者になろう!)や環境プラザがやってきた(出前授業)などで、大学生が子どもたちと触れ合い、環境保全について伝える機会を設けた。	7/25～3/31 登録 4 人
	「長期休み自由研究応援企画～小さな研究者になろう!」(環境プラザ) 夏休みは「まちの中の樹木調査」を行い、街路樹の役割や自然の大切さを学んだ。冬休みは「自由研究ネタのタネまつり」として、環境団体の出展ブースでさまざまな体験を提供した。	7/28、8/7、1/9 延べ 109 人
	「おしゃれとちょっとのエコゴコロ エシカルスタイル」(環境プラザ) 消費生活と環境保全のつながりを考える機会を提供し、地産地消や天然素材などの環境に配慮した製品を取り扱う作家や企業を支援することを目的に講演、ワークショップを実施した。	12/21、12/22、12/23 延べ 37 人
	こどもエコクラブ交流会 第3回「マイ箸をつくろう!」(環境プラザ) こどもエコクラブのクラブ間の交流や活動の拡充を図るとともに、自然物を身近に感じ、Reduce(リデュース)について考えるきっかけ作りを目的として、マイ箸作りのプログラムを実施した。	3/13 39 人
	情報交流事業 サロン事業(情報センター) さまざまな年齢層に交流の場を提供することを目的に、個々の持つ 4 分野に関連する課題を解決するための情報交流の場を提供した。	12/19、1/19、3/5 3/6、3/12 延べ 134 人
	情報発信講座(情報センター) 広報の課題解決を目的に、ソーシャルメディアの活用やキャッチコピーをテーマとした、市民団体がより効果的な情報発信を行うための講座を実施した。	10/21、10/28、11/7 1/27、2/10 延べ 93 人
	「ブックトーク」(情報センター) 4 分野に関連する活動で活躍する著者を招き、情報に対する認識を深め、情報センターの利用増加につなぐことを目的に実施した。	11/25、2/29、3/23 延べ 131 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域連携事業	「野あそびようちえん」(環境プラザ) 幼児期から自然の面白さや大切さに気づききっかけとして、親子で日常でも遊べる野あそびを知る機会を提供した。また、市街地で行うことで自然遊び初心者の保護者が遊べる場を提供した。	7/23、8/27、10/22、 11/19、1/28、2/18 延べ 71 組 155 人
	「北 8 条通アマとホップのフラワーロード事業」(共通) 地域所縁の植物や、一年草の苗を札幌エルプラザ前花壇等に植え、交流と地域活性化の機会とした。	5/28 30 人
	「エルプラまつり」(共通) 団体による「活動発表展」をはじめ、各施設の出展やスタンプラリー等を実施し、一般市民、地域、企業などまつりに係る人たちが協力し事業を作り上げることができた。	9/5 10,967 人
	「スノー&アイスクャンドル大作戦」(共通) 札幌エルプラザ公共 4 施設の周知、コミュニケーションの機会となることを目的に、アイスクャンドル作りや空き瓶を利用したキャンドルホルダー製作のワークショップを実施した。	1/27～2/11 延べ 200 人
情報発信事業	「ライブラリーサロン『つたえば』」(情報センター) 市民活動団体に親しみを持っていただくことを目的に「つたえば」と題した情報発信スペースを利用し、団体の情報発信やPR展示等の実施の支援を行った。	4 月～9 月 (6 回) 実施団体：6 団体
	「市民活動促進学生プロジェクト」(市民活動サポートセンター) 子どもや若者の市民活動への参加意識の啓発のため、広報ツールの作成および「子どもボランティア体験プログラム」事業においてこどもの活動支援を行った。	7/16～9/20 延べ 45 人
	「キャンドルナイト事業」(共通) 昔話とウクレレ演奏を幅広い世代の方々に楽しんでいただきキャンドルの灯りの中でゆったりとした時間を過ごした。環境行動に関する効果的な PR につなげることができた。	6/13・6/22 85 人



平成27年度 札幌エルプラザ公共4施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
セ ン タ ー 共 同 参 画	施設利用	件数 2,464 人数 32,050	件数 2,464 人数 29,659	件数 2,832 人数 33,123	件数 2,841 人数 28,967	件数 2,635 人数 28,968	件数 2,861 人数 31,595	件数 2,841 人数 31,112	件数 2,884 人数 36,655	件数 2,513 人数 28,634	件数 2,297 人数 25,662	件数 2,544 人数 29,561	件数 2,716 人数 33,714	件数 31,892 人数 369,700	
	相談事業	件数 64 人数 64	件数 72 人数 72	件数 70 人数 70	件数 67 人数 67	件数 60 人数 60	件数 68 人数 68	件数 75 人数 75	件数 73 人数 73	件数 61 人数 61	件数 59 人数 59	件数 75 人数 75	件数 74 人数 74	件数 818 人数 818	
	視察・見学	件数 0 人数 0	件数 2 人数 26	件数 1 人数 2	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 2 人数 25	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 5 人数 53				
	施設外事業	件数 0 人数 0	件数 1 人数 650	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 1 人数 34	件数 2 人数 52	件数 2 人数 34	件数 1 人数 34	件数 0 人数 0	件数 2 人数 88	件数 2 人数 44	件数 2 人数 44	件数 11 人数 936
	計	件数 2,464 人数 32,114	件数 2,465 人数 30,381	件数 2,832 人数 33,193	件数 2,841 人数 29,034	件数 2,635 人数 29,028	件数 2,864 人数 31,723	件数 2,844 人数 31,241	件数 2,886 人数 36,762	件数 2,514 人数 28,729	件数 2,297 人数 25,721	件数 2,548 人数 29,749	件数 2,718 人数 33,832	件数 31,908 人数 371,507	
	セ ン タ ー ※	施設利用	件数 292 人数 2,904	件数 261 人数 3,054	件数 294 人数 3,370	件数 349 人数 4,043	件数 304 人数 3,697	件数 361 人数 4,252	件数 322 人数 4,317	件数 284 人数 3,263	件数 347 人数 3,797	件数 286 人数 3,371	件数 314 人数 3,577	件数 358 人数 3,668	件数 3,772 人数 43,313
相談事業	件数 1,090 人数 1,090	件数 983 人数 983	件数 1,276 人数 1,276	件数 1,164 人数 1,164	件数 1,014 人数 1,014	件数 1,023 人数 1,023	件数 1,096 人数 1,096	件数 1,073 人数 1,073	件数 993 人数 993	件数 933 人数 933	件数 959 人数 959	件数 1,132 人数 1,132	件数 12,736 人数 12,736		
視察・見学	件数 0 人数 0	件数 1 人数 26	件数 1 人数 22	件数 1 人数 20	件数 0 人数 0	件数 3 人数 68									
計	件数 292 人数 3,994	件数 261 人数 4,037	件数 294 人数 4,646	件数 349 人数 5,207	件数 304 人数 4,711	件数 362 人数 5,301	件数 323 人数 5,435	件数 285 人数 4,356	件数 347 人数 4,790	件数 286 人数 4,304	件数 314 人数 4,536	件数 358 人数 4,800	件数 3,775 人数 56,117		
セ ン タ ー 市 民 活 動	施設利用	件数 1,684 人数 6,051	件数 1,687 人数 5,807	件数 1,587 人数 5,272	件数 1,604 人数 5,272	件数 1,484 人数 5,101	件数 1,454 人数 5,180	件数 1,544 人数 5,127	件数 1,637 人数 5,469	件数 1,473 人数 4,612	件数 1,306 人数 4,694	件数 1,456 人数 5,246	件数 1,626 人数 5,491	件数 18,542 人数 63,472	
	相談事業	件数 58 人数 58	件数 48 人数 48	件数 71 人数 71	件数 64 人数 64	件数 35 人数 35	件数 50 人数 50	件数 49 人数 49	件数 39 人数 39	件数 24 人数 24	件数 36 人数 36	件数 47 人数 47	件数 46 人数 46	件数 567 人数 567	
	視察・見学	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 1 人数 19	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 1 人数 2	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 4 人数 27	件数 0 人数 0	件数 6 人数 48	
	施設外事業	件数 0 人数 0	件数 3 人数 600	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 2 人数 4,943	件数 0 人数 0	件数 0 人数 0	件数 2 人数 99	件数 7 人数 5,642					
	計	件数 1,684 人数 6,109	件数 1,687 人数 5,855	件数 1,587 人数 5,343	件数 1,604 人数 5,486	件数 1,485 人数 5,155	件数 1,457 人数 5,830	件数 1,544 人数 5,176	件数 1,638 人数 5,510	件数 1,475 人数 9,579	件数 1,306 人数 4,730	件数 1,460 人数 5,320	件数 1,628 人数 5,636	件数 18,555 人数 69,729	
	環 境 プ ラ ザ	施設利用	件数 195 人数 2,784	件数 184 人数 2,342	件数 188 人数 2,494	件数 195 人数 2,313	件数 175 人数 1,971	件数 184 人数 2,169	件数 204 人数 2,474	件数 199 人数 2,586	件数 185 人数 2,133	件数 187 人数 2,513	件数 179 人数 2,072	件数 205 人数 2,631	件数 2,280 人数 28,482
相談事業	件数 6 人数 6	件数 3 人数 3	件数 2 人数 2	件数 6 人数 6	件数 3 人数 3	件数 5 人数 5	件数 5 人数 5	件数 4 人数 4	件数 11 人数 11	件数 9 人数 9	件数 5 人数 5	件数 4 人数 4	件数 63 人数 63		
視察・見学	件数 0 人数 0	件数 1 人数 1	件数 4 人数 4	件数 2 人数 2	件数 6 人数 6	件数 2 人数 2	件数 2 人数 2	件数 1 人数 1	件数 5 人数 5	件数 2 人数 2	件数 4 人数 4	件数 0 人数 0	件数 29 人数 29		
展示コーナー	件数 0 人数 0	件数 38 人数 38	件数 233 人数 233	件数 87 人数 87	件数 408 人数 408	件数 18 人数 18	件数 77 人数 77	件数 80 人数 80	件数 254 人数 254	件数 53 人数 53	件数 189 人数 189	件数 0 人数 0	件数 1,437 人数 1,437		
総合学習	件数 4,171 人数 4,171	件数 2,353 人数 2,353	件数 2,252 人数 2,252	件数 2,792 人数 2,792	件数 3,328 人数 3,328	件数 3,273 人数 3,273	件数 2,387 人数 2,387	件数 3,304 人数 3,304	件数 2,545 人数 2,545	件数 2,778 人数 2,778	件数 2,265 人数 2,265	件数 3,447 人数 3,447	件数 34,895 人数 34,895		
施設外事業	件数 0 人数 0	件数 10 人数 10	件数 14 人数 14	件数 173 人数 173	件数 0 人数 0	件数 60 人数 60	件数 148 人数 148	件数 36 人数 36	件数 227 人数 227	件数 0 人数 0	件数 3 人数 3	件数 26 人数 26	件数 697 人数 697		
計	件数 195 人数 6,961	件数 185 人数 4,746	件数 195 人数 5,815	件数 200 人数 5,523	件数 183 人数 6,036	件数 188 人数 5,859	件数 208 人数 5,144	件数 203 人数 6,105	件数 192 人数 5,301	件数 192 人数 5,776	件数 184 人数 4,555	件数 207 人数 6,247	件数 2,332 人数 68,068		
公 共 4 施 設 計	施設利用	件数 4,635 人数 43,789	件数 4,596 人数 40,862	件数 4,901 人数 44,259	件数 4,989 人数 40,745	件数 4,598 人数 39,737	件数 4,860 人数 43,196	件数 4,911 人数 43,030	件数 5,004 人数 47,973	件数 4,518 人数 39,176	件数 4,076 人数 36,240	件数 4,493 人数 40,456	件数 4,905 人数 45,504	件数 56,486 人数 504,967	
	相談事業	件数 1,218 人数 1,218	件数 1,106 人数 1,106	件数 1,419 人数 1,419	件数 1,301 人数 1,301	件数 1,112 人数 1,112	件数 1,146 人数 1,146	件数 1,225 人数 1,225	件数 1,189 人数 1,189	件数 1,089 人数 1,089	件数 1,037 人数 1,037	件数 1,086 人数 1,086	件数 1,256 人数 1,256	件数 14,184 人数 14,184	
	視察・見学	件数 0 人数 0	件数 1 人数 1	件数 4 人数 4	件数 2 人数 2	件数 7 人数 7	件数 5 人数 5	件数 4 人数 4	件数 3 人数 3	件数 5 人数 5	件数 2 人数 2	件数 10 人数 10	件数 0 人数 0	件数 43 人数 43	
	展示コーナー	件数 0 人数 0	件数 38 人数 38	件数 233 人数 233	件数 87 人数 87	件数 427 人数 427	件数 70 人数 70	件数 101 人数 101	件数 102 人数 102	件数 254 人数 254	件数 53 人数 53	件数 241 人数 241	件数 0 人数 0	件数 1,606 人数 1,606	
	総合学習	件数 4,171 人数 4,171	件数 2,353 人数 2,353	件数 2,252 人数 2,252	件数 2,792 人数 2,792	件数 3,328 人数 3,328	件数 3,273 人数 3,273	件数 2,387 人数 2,387	件数 3,304 人数 3,304	件数 2,545 人数 2,545	件数 2,778 人数 2,778	件数 2,265 人数 2,265	件数 3,447 人数 3,447	件数 34,895 人数 34,895	
	施設外事業	件数 0 人数 0	件数 1 人数 1	件数 3 人数 3	件数 3 人数 3	件数 2 人数 2	件数 6 人数 6	件数 4 人数 4	件数 5 人数 5	件数 3 人数 3	件数 3 人数 3	件数 3 人数 3	件数 6 人数 6	件数 41 人数 41	
計	件数 4,635 人数 49,178	件数 4,598 人数 45,019	件数 4,908 人数 48,997	件数 4,994 人数 45,250	件数 4,607 人数 44,930	件数 4,871 人数 48,713	件数 4,919 人数 46,996	件数 5,012 人数 52,733	件数 4,528 人数 48,399	件数 4,081 人数 40,531	件数 4,506 人数 44,160	件数 4,911 人数 50,515	件数 56,570 人数 565,421		
※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては消費者協会分を含む															
情 報 セ ン タ ー	人数	7,341	6,773	7,876	7,209	8,003	8,064	7,314	7,796	7,750	7,864	7,448	8,354	91,792	
平成27年度札幌エルプラザ 公共4施設総利用者数		56,519	51,792	56,873	52,459	52,933	56,777	54,310	60,529	56,149	48,395	51,608	58,869	657,213	



(9) 企画事業課【地域活動等事業：自主事業、受託事業】

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
企画提案事業	「さっぽろ水道フェスタ 2015」企画制作・実施業務	6/20～6/21 15,871 人
自主企画事業	「円山動物園事業『ZOO ナイトキャンプ』」	8/12～8/13 24 人
受託型事業	<p>「第 67 回さっぽろ雪まつり関連事業」</p> <p>①さっぽろ雪まつり大雪像制作隊長育成業務</p> <p>②第 67 回さっぽろ雪まつり大雪像制作 (大通西 8 丁目会場) 統括業務</p> <p>③第 67 回さっぽろ雪まつり大通西 10 丁目会場における 大雪像制作等業務 [新規]</p> <p>④札幌市大通西 8 丁目大雪像制作団指導業務</p> <p>⑤「第 67 回さっぽろ雪まつり」つどーむ会場すべり台等 制作業務</p> <p>⑥「わくわくタッピーランド」における雪像等の制作及び 運営業務</p> <p>⑦「第 67 回さっぽろ雪まつり」つどーむ会場すべり台等 運営業務</p> <p>⑧米袋ソリ工作体験ブース運営業務 [新規]</p> <p>⑨「第 67 回さっぽろ雪まつり」つどーむ会場氷のすべり台 雪像制作および音響機材貸借業務</p>	<p>①4 月～3 月</p> <p>②10 月～2 月</p> <p>③11 月～2 月</p> <p>④11 月～2 月</p> <p>⑤12 月～2 月</p> <p>⑥12 月～2 月</p> <p>⑦2 月</p> <p>⑧2 月</p> <p>⑨2 月</p> <p>延べ 1,950,000 人</p> <p>※つどーむ会場 延べ 654,000 人</p>
	「札幌幼児保育専門学校への非常勤講師派遣業務」	4/17～10/2 各回 10 人程度
	「発寒にこりんこども園体操教室への講師派遣業務」	4/21～3/2
	「『未来を守ろうプロジェクト』運営業務」	6/7～3/31 120 人
	「清田区町内会活動活性化支援事業」	6/5～3/30 延べ 274 人
	「安全運転普及イベント運営補助業務」 [新規]	9/14～3/31
	「『SORAこそだてフェスティバル 2015』 遊びコーナー運営業務」	12/12 3,924 人

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
受託型事業	『西区こども環境広場』運営業務 [新規]	12/13 484人
	「国営滝野すずらん丘陵公園青少年山の家における『歩くスキー出前授業』実施業務」	1/15～3/8 984人
	「ミニさっぽろ」(ミニさっぽろ実行委員会業務含)	4月～12月 4,370人
	「第10回とよひらおもしろスノーパーク」学生企画 コーディネート業務」	2/13 1,500人
	「ミモザコンサート音響設備設営」 [新規]	3/5

(10) その地 地域活動等事業等 (こども育成事業、地域創造大賞受賞、若者支援自立支援事業)

事業区分	事業名	時期・回数・参加人数等
学習支援事業	「まなびのサポート事業『遊學舎 まなべえ』 生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援事業。平成27年度は、対象枠が生活保護世帯と就学援助世帯に広がったことにより、450人の定員に対し600人の申込があり、150人が待機となった。大学の協力により学習支援サポーターを一定数確保することができた。中学生にとって学習習慣を身に付ける機会だけでなく、仲間作りをとおして「居場所」を感じられる時間となっていた。中学生を支援する大学生にとっても成長につながる人材育成の面からも効果のある事業となった。	6月～3月 会場 30会場 登録人数 502人 参加人数 延べ 11,505人 学習支援 サポーター登録 延べ 211人
地域連携事業	「やまびこ座「平成27年度地域創造大賞(総務大臣賞)」受賞」 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、財団設立10周年を機に平成16年度から実施している表彰の授賞式。こどもの文化に特化し、専門劇場としての施設運営、とりわけ地域に根ざした人材育成が評価されての受賞となった。	授賞式 1/15
自立支援事業	「地域若者サポートステーション事業(岩見沢)」 ハローワークでの出張相談を9月より月1回で開始。3月まで継続したことで、利用者のみならずハローワーク職員のサポートステーションに対する理解が深まった。江別市出張相談の利用が増え、居住区の統計では、岩見沢市とほぼ同数の40%を占め、江別市での需要を感じている。(平成28年度も実施予定)	通年 相談件数 603件 来所人数 544人 新規受付カード発行数 79人 就職等進路決定者数 42人

6. 重要な契約に関する事項

(1) 地域活動等事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌まなびのサポート事業	札幌市長	32,219
さっぽろ若者サポートステーション事業	厚生労働省 他	29,682
岩見沢地域若者サポートステーション事業	厚生労働省 他	10,739

(2) 指定管理事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長	2,830,319
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長	43,194
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市長	154,732
札幌市定山溪自然の村管理業務	札幌市教育委員会委員長	75,353
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長	245,609
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会委員長	126,557
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会委員長	29,361

(3) 受託事業

単位：千円

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長	1,498,284
札幌市「放課後子ども館」管理運営業務(追加分を含む)	札幌市長	24,440
子育て支援拠点事業運営業務	札幌市長	53,338

7. こども基金(スマイルキッズ)

(1) 協力者一覧

寄付金総額 1,174,085 円 全 89 件

【法人】 2 件

寄付者氏名	寄付額
株式会社館野オフィスサービス	30,000 円
株式会社ハビングループ	100,000 円
合 計	130,000 円

【団体】 62 件

寄付者氏名	寄付額
ライオンズマンション二十四軒第3管理組合	50,000 円
新川中央児童会館地域協力委員会	30,000 円
北区新川地区民生児童委員協議会	20,000 円
山鼻商工振興会	16,085 円
人形劇団えりっこ	10,000 円
南栄町内会	10,000 円
その他	574,000 円
合 計	710,085 円

【個人】 25 件

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	334,000 円
合 計	334,000 円

IV. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和 55 年 4 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- (2) 社会教育の推進に関する事業
- (3) 市民活動の振興に関する事業
- (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

4. 事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号

従たる事務所 : 札幌市北区新琴似 8 条 1 丁目 1 番 34 号 2 階

5. 役員等に関する事項

(1) 理事

理事長	岡村 龍一	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 理事長
専務理事	齋藤 彰	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 専務理事
理事	忍 博次	北海道社会福祉協議会 副会長理事
理事	佐藤 和子	元 札幌市女性団体連絡協議会 会長
理事	相馬 宏哉	NPO法人ネイチャープログラムデザイン 理事長
理事	前田 元照	(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長

(2) 監事

監事	西田 史明	札幌商工会議所 総務部長
監事	梅津 太	税理士

[平成 28 年 3 月 31 日現在 計 8 名]

平成 27 年度における理事会は、次のとおり 4 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 27 年 6 月 4 日	【第 8 回理事会】 1 「平成 26 年度事業報告及び附属明細書の承認」の件 2 「平成 26 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件 3 「定時評議員会の日時並びに目的である事項」の件	1 可決 2 可決 3 可決
平成 27 年 6 月 23 日	【第 9 回理事会】 1 「理事長及び専務理事の選定」の件 2 「専務理事の報酬月額」の件	1 可決 2 可決
平成 27 年 11 月 5 日	【第 10 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「その他報告」の件	1 報告 2 報告
平成 28 年 2 月 26 日	【第 11 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「平成 27 年度予算の変更」の件 3 「平成 28 年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件 4 「平成 28 年度事務局の組織及び運営」の件	1 報告 2 可決 3 可決 4 可決

(3) 評議員

評議員	上 田 厚 子	(公社)札幌市母子寡婦福祉連合会 理事長
評議員	大 木 光 恵	NPO法人ふろぐれっしょん 代表理事
評議員	加 藤 喜久子	北海道情報大学 教授
評議員	川 端 美 樹	札幌市PTA協議会 会長
評議員	菊 池 恒	北海道商店街振興組合連合会 理事長
評議員	小 林 元 治	社会福祉法人札幌市豊平区社会福祉協議会 会長
評議員	杉 岡 直 人	北星学園大学 教授
評議員	濱 口 登代喜	(公財)北海道青少年育成協会 専務理事

[平成 28 年 3 月 31 日現在 計 8 名]

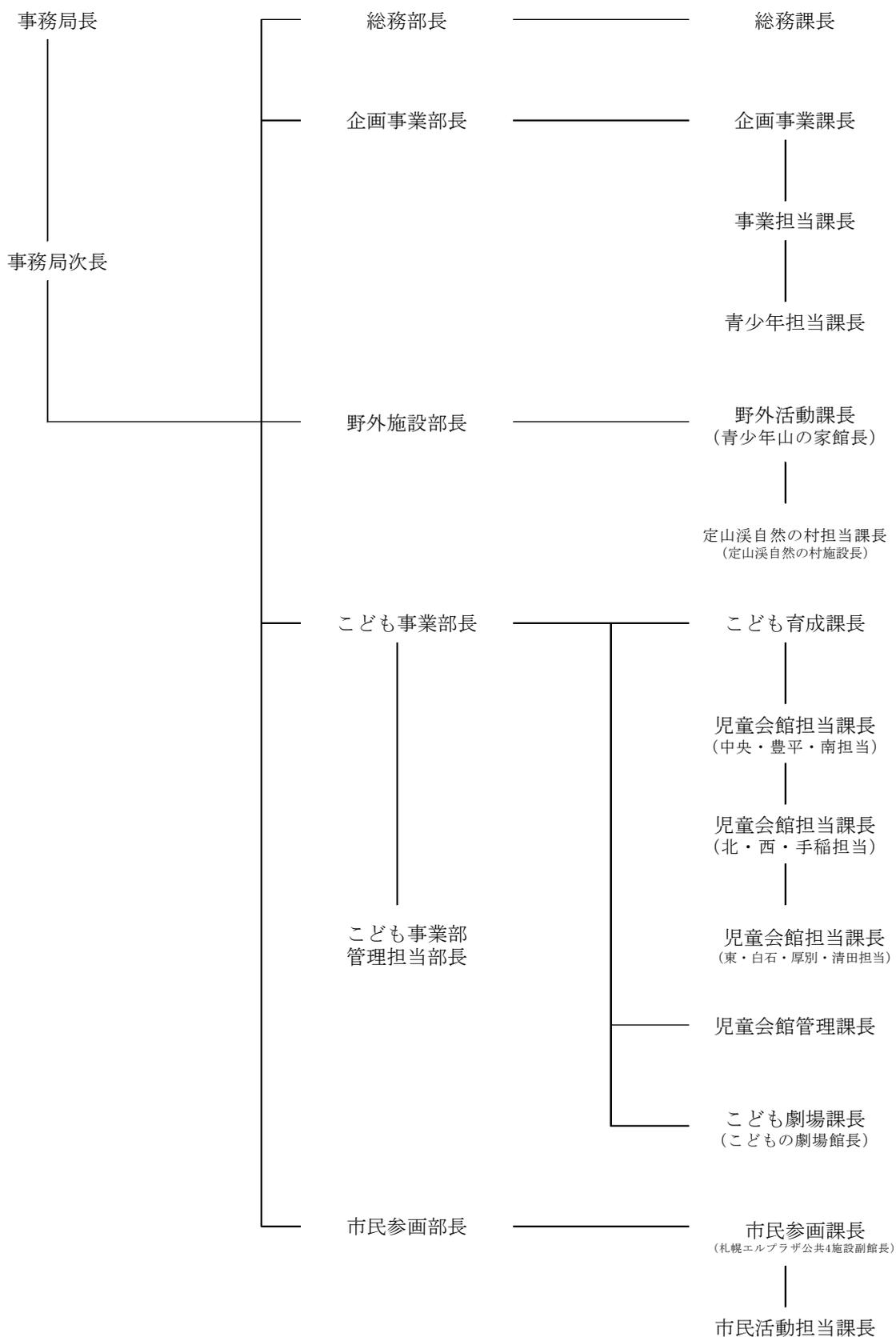
平成 27 年度における評議員会は、次のとおり 1 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成 27 年 6 月 23 日	【第 3 回評議員会】 1 「平成 26 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件 2 「理事の選任」の件	1 可決 2 可決

6. 職員に関する事項（平成 27 年度末現在）

平成 28 年 3 月 31 日現在における事務局組織は次のとおりである。

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 機構図



(1) 主要な職員

役職名	氏名	採用年月日	担当職務
事務局長	大川 泰 尚	昭和 55 年 4 月 1 日	事務局の総括
事務局次長	谷 山 正 司	平成 23 年 4 月 1 日	事業部門の総括
総務部長	生 出 裕 一	平成 1 年 6 月 19 日	財団運営・総務課業務の総括
野外施設部長	下川原 清 貴	昭和 63 年 12 月 14 日	野外活動課の総括
こども事業部長	寺 田 陽 子	昭和 55 年 4 月 1 日	こども育成課・管理課、こども劇場課業務の総括
管理担当部長	五十嵐 健 二	平成 1 年 4 月 1 日	児童会館管理課の総括
市民参画部長	岡 本 峰 子	昭和 61 年 4 月 1 日	市民参画課の総括
総務課長	佐々木 勝 敏	平成 12 年 4 月 1 日	総務・財務・労務・経理等の総括
企画事業課長	井 崎 光 男	昭和 59 年 9 月 9 日	企画事業課業務の総括
事業担当課長	石 井 一 彦	昭和 63 年 4 月 1 日	自主事業の実施等総括等
青少年担当課長	松 田 考	平成 13 年 1 月 1 日	若者支援事業の総括
野外活動課長	志 賀 和 行	昭和 63 年 2 月 1 日	青少年山の家の総括
定山溪自然の村担当課長	山 田 憲 克	平成 9 年 7 月 1 日	定山溪自然の村の総括
こども育成課長	斉 藤 隆 弘	昭和 60 年 4 月 1 日	児童会館運営に関する総括
児童会館担当課長	斉 藤 美 季	平成 5 年 6 月 1 日	児童会館（中央・豊平・南担当）
児童会館担当課長	齋 藤 隆 仁	昭和 59 年 4 月 1 日	児童会館（西・北・手稲担当）
児童会館担当課長	蓮 井 潤 子	平成 4 年 4 月 1 日	児童会館（東・白石・厚別・清田担当）
児童会館管理課長	会 田 彰 仁	平成 4 年 2 月 1 日	児童会館管理に関する総括
こども劇場課長	矢 吹 英 孝	平成 3 年 4 月 1 日	こども劇場課の総括
市民参画課長	高 橋 雅 裕	平成 8 年 5 月 1 日	エルプラザ公共 4 施設業務の総括
市民活動担当課長	佐々木洋一郎	昭和 56 年 4 月 1 日	市民活動に関する調整

(2) 職員数

事務局長/事務局次長	2 名	再任用職員	8 名
主任指導員	161 名	サポートスタッフ	122 名
指導員	455 名	臨時職員	104 名
専門指導員	85 名	パートタイム職員	614 名
合 計			1,551 名
内常勤職員数	833 名	内非常勤職員数	718 名

7. 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結（「独立監査人の監査報告書」：平成 28 年 5 月 26 日受理）



